新富町議会だより

132号
2026年10月



9月定例会

- ●特集「いずみ保育園うんどうかい」
- ●９月定例会報告①②
- ●一般質問（９名）
- ●審議結果・行政調査報告
- ●議員と語ろう会
- ● Pick up

ちからをあわせて　ひとつになるよ

ひとりの技から、ふたり、みんなへ。かたちを変えながら、最後は大きなピラミッド（表紙）になりました。


かかし


よっと


ばらんす


ひこうき


はな


とんぼ


とーてむぽーる


おうぎ


いっぽんばし

ゆみせんせい

年長組の最大の見せ場といえば組体操なのですが…
はじめはおしゃべりや笑いながらで集中できず。それでも練習を重ねていくうちにカッコいい姿をみんなに見せたいという気持ちが芽生えてきましたね。運動会当日は今までで一番上手でした。
感動の涙をありがとう。

定例会報告①　令和7年度決算を認定

◆一般会計

歳入総額	歳出総額	実質収支
166 億 9,444 万 3 千円	**163 億 3,537 万 5 千円**	**2 億 3,450 万 7 千円**
前年度を 20 億円以上上回る	前年度を 20 億円以上上回る	黒字決算（形式収支 3 億 5,906 万 8 千円）

歳入・歳出ともに前年度を 20 億円以上上回る、過去最高額の決算。物価高騰対策、子育て支援、農業振興、地域活性化、防災・減災対策、教育環境の充実などが実施されました。

財政力指数	経常収支比率	公債費負担比率
0.45	**87.3%**	**6.1%**

健全化判断比率は、いずれも国の基準を下回り、健全な財政状況が確認されました。

基金は全体で **1 億 9,076 万 4 千円 増**
（うち財政調整基金に 1,810 万 3 千円を積み増し）

地方債残高は **7,758 万 5 千円 減**

特別会計・水道事業会計の決算

会　計　名	歳　入	歳　出	実質収支
国民健康保険	20 億 2,052 万 1 千円	19 億 9,032 万 2 千円	3,019 万 9 千円
介護保険（保険事業勘定）	17 億 8,518 万 1 千円	16 億 9,618 万 5 千円	8,899 万 6 千円
介護保険（介護サービス事業勘定）	1,127 万 9 千円	1,065 万円	62 万 9 千円
後期高齢者医療	5 億 4,944 万 7 千円	5 億 4,871 万 9 千円	72 万 8 千円
西都児湯情報公開・個人情報保護審査会	26 万 2 千円	12 万 1 千円	14 万 1 千円

水道事業会計

総収益	総費用	当年度純利益
3 億 3,294 万 8 千円	**2 億 7,804 万 8 千円**	**5,490 万 1 千円**

有収率 90.63%／給水戸数 5,942 戸（42 戸減）／有収水量 166 万 5,011㎥（21 万 4,529㎥増）

総務産業常任委員会

議案８件・承認１件・認定４件を審査し、いずれも全会一致で可決・承認・認定しました。新富町文化会館の指定管理者となったこゆ地域づくり推進機構について、多彩な経歴を持つ地域おこし協力隊が、会館運営のほか演劇や映像の創作活動にも取り組んでいるとの説明を受けました。また、老朽化が進む新田小学校講堂の建替えに向けた検討を進めるよう再度要望しました。

文教厚生常任委員会

議案４件・認定４件を審査し、いずれも全会一致で可決・認定しました。国民健康保険の重症化予防事業について、食事の写真をもとにＡＩが分析し、個別にメッセージを配信して行動変容を促す、時代に合った事業であるとの意見が出されました。また、一人暮らしの高齢者の見守りに、スマート水道メーターを活用してはどうかとの意見が出されました

YouTube

◀それぞれの委員長報告の全文は、議会中継（YouTube）でご覧いただけます。
総務産業常任委員会委員長報告　００：４８～
文教厚生常任委員会委員長報告　２７：３４～

定例会報告②　令和８年度補正予算を可決

一般会計　**＋３億 1,714 万５千円**
（第６回補正）

補正後の予算総額
171 億 5,395 万５千円

特別会計（補正）	補正額	補正後の総額
国民健康保険（第２回）	＋ 60 万３千円	19 億 8,605 万円
介護保険（保険事業勘定）（第２回）	＋ 1 億 6,219 万２千円	19 億 3,114 万７千円
後期高齢者医療（第２回）	＋ 1,984 万４千円	５億 8,326 万１千円
介護保険（介護サービス事業勘定）（第１回）	＋ 62 万８千円	623 万９千円

専決処分を承認

一般会計（第５回補正）**＋ 2,016 万６千円**　補正後 168 億 3,681 万円
７月 28 日に発生した熊本地震に伴う公共施設などの災害復旧と、記録的猛暑への対応のため、急ぎ予算措置が行われました。

主な取組事業

乳幼児・児童・生徒インフルエンザ予防接種事業

事業費　146 万４千円

高校生までのインフルエンザ予防接種について、費用負担の軽減と接種機会の確保を目的に、助成額を拡充。



就学前教育・保育施設整備交付金事業補助金

事業費　2,981 万６千円

幼保連携型認定こども園の整備と、土砂災害特別警戒区域内にある保育園の移転整備を支援。



富田浜公園プール跡地改修実施設計業務委託

事業費　5,350 万円

富田浜公園のプール跡地を改修するための、実施設計に係る委託料。



加害性の高い鳥獣の重点捕獲支援事業

事業費　108 万７千円

有害鳥獣（シカ・イノシシ・サル）対策のための、爆音機等の購入費。



一般質問 町政を問う

9人が登壇

羽田野 治（はたの おさむ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 13：52 F-35Bの騒音対策について
- 26：42 激甚化する災害への対応について
- 41：15 小・中学校の運営について

揖斐 兼久（いび かねひさ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 9：20 新田原基地関連について
- 22：55 危機管理について
- 40：30 新富町一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設について

阿萬 誠郎（あまん せいろう） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 13：43 地域の防犯・防災力強化について
- 25：50 公有地の有効活用について
- 32：23 公営住宅等長寿命化計画について
- 42：50 浄化槽の適正管理について

三浦 千尋（みうら ちひろ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 19：40 スマートIC周辺開発と利活用について
- 31：10 歴史遺産としての新田原古墳群の活性化について
- 37：37 地区活動活性化策について
- 45：02 AIリテラシーについて

今村 行信（いまむら ゆきのぶ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 7：20 F-35Bの運用等について
- 15：05 航空機騒音について
- 25：52 人口減少対策等について

小山 早苗（こやま さなえ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 13：25 大規模災害の備えについて
- 25：30 持続可能な地区運営について
- 44：05 教育現場における課題について

屋宜 直美（やぎ なおみ） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 9：35 小・中学校における温暖化・熱中症対策について
- 20：37 新富町における防災機能の強化について

出口 喜重郎（でぐち きじゅうろう） 議員



動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 8：12 ２０２６年産米について
- 39：52 金芽米について

松浦 美緒（まつうら みお） 議員

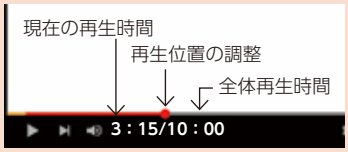


動画▶

質問項目（動画の目安時間）

- 9：55 小型無人機等飛行禁止法改正について
- 27：20 経済的負担軽減に向けたワクチン接種助成拡充について
- 41：03 情報リテラシー向上と活字文化の推進について

各議員のQRコードから、議会中継（YouTube）の該当する場面をご覧いただけます。質問と答弁の一部は、このあとの**P6～P10**に掲載しています。
※音声が聞き取りにくい時はイヤホンをお使いください。



再生位置の確認方法
※再生機器よって若干異なります。

騒音被害の実情をどう示すか



羽田野（はたの） 治（おさむ） 議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

被害の根拠を示し要望を

問 基地騒音の訴えは広がっている。住民アンケートなどで被害の実情を数値化し、根拠を示した要望活動へ転換すべきでは。

町長 町が個人の情報を調べるのは慎重を期す。ただ、訴訟という事実や声を上げられない住民の思いも含め、国が対応すべき問題として強く訴える。

部活動の地域展開　年度内に方針を

問 地域展開は年度内に明確な方針を示せる日程になっているのか。

教育長 検討委員会を重ね、秋に対象種目を設計、冬に関係団体と協議し、年度末に基本方針とロードマップをまとめ、生徒や保護者にも周知する。

教育委員会と学校現場、直接の対話は

問 教職員との語ろう会では、教員不足や事務作業の多さ、地域との連携不足など率直な意見が相次いだ。教育現場と教育委員会の認識に食い違いが生じるのはなぜか。現場からの評価はどのように行っているのか

教育長 教職員と直接面談はしていない。管理職との月例協議や毎月の「生徒状況報告書」などで状況を把握している。



切実な声は届いているか

国の交付金と災害への備えを問う



揖斐（いび） 兼久（かねひさ） 議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

各種要望活動に対する国の対応は

問 各種の要望活動に対する国の対応はどうか。

町長 調整交付金等の増額が予想される。

問 再編関連訓練移転等交付金に替わる交付金は。

町長 調整交付金支給と合わせて評価、加算するため実質上の継続となると聞いている。

問 調整交付金支給と合わせて評価すると実質上の減額となる場合がある。しっかりと見極めてほしい。

町長 項目などをしっかりと見極める。

問 F-35Bの整備拠点誘致に関する今後の方針は。

町長 実現性を考慮し関連企業と話しながら検討する。

危機管理について

問 今回の熊本地震から得られた教訓はあるか。

町長 避難所の暑熱対策において教訓を得た。また、各機関からの応援を受け入れるための受援計画の必要性を改めて実感した。

問 各種機関が実施する振り返り会議等に積極的に参加し、今後の糧としてほしい。

町長 参加する。

一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設について

問 一ツ瀬川スポーツレクレーション施設の利用促進の方策は。

教育長 町民対象のゴルフコンペ再開や企業協賛コンペを企画。ゴルフ場敷地での飲食イベント等、顧客獲得の準備をしている。

跡地整備と家庭の防犯対策を問う



阿萬（あまん）　誠郎（せいろう）　議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

成法寺住宅跡地の事業進捗は

問　成法寺住宅跡地の総合的な整備事業の進捗は。

町長　多目的広場は「防衛施設周辺整備統合事業」の活用により、整備の見通しである。本年度は、概算要求に必要な費用対効果分析等の業務委託を実施する。今後は令和9年度に実施設計、令和10年度に工事着手を計画している。



多目的広場・住宅地として整備が進む跡地

家庭用「防犯機器」設置の支援を

問　町民の自衛策を後押しする家庭用防犯カメラなど、防犯機器の設置費を支援できないか。

町長　全国的に侵入強盗や不審な訪問への不安が高まる中、各家庭の防犯意識の向上と自らを守る備えは、地域全体の安全・安心につながる重要な取組と認識している。家庭用防犯カメラ等の設置促進は、町民一人ひとりの自衛策を後押しし、地域の見守り機能を高める面からも有効である。今後は他自治体の補助事例や町民ニーズ等を踏まえ、支援のあり方を調査研究していきたい。



家屋の防犯力強化が地域防犯の一助に

スマートIC周辺活性化と古墳群の活用を



三浦（みうら）　千尋（ちひろ）　議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

スマートIC周辺の利活用について

問　スマートインターチェンジ周辺の整備は100年に1度のチャンスで、地区民も重大な関心を寄せている。周辺の利活用について具体的な取り組みと、国やNEXCOの新たな制度活用の可能性を伺う。

町長　様々な誘致活動を継続中である。国土交通省から多様な情報提供と直接の説明を受けた。管理されない墓の増加に対して、古墳形状の合葬可能な公園墓地を整備し、多くの人が集うことで、直売場の設置など公共としての活用も含め実現可能性を検証している段階である。

新田原古墳群の活性化について

問　11月11日の古墳祭と、古墳群の町の財産としての活用策を伺う

町長　し、伝統を守り継続する。観光資源としては伝統を考慮し、切り離して考える必要がある。

AIリテラシーについて

問　AIリテラシーは急速な進化に呼応し、誤用や恣意的なリスクに備える検証体制が必要である。「AI憲法」的なプロセス設計と職員教育の充実を要望したい。

町長　生成AIを優秀なアシスタントと位置づけ、多様な視点による検証と職員の専門性向上を図り、最終的な判断と責任は職員にあるとの認識を徹底していく。

F-35Bの運用と人口減少対策を問う



今村　行信（いまむら　ゆきのぶ）議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

F-35Bの運用について

問　F-35Bの騒音削減等、基地の努力は評価している。しかし運用開始後約10か月が経過しているのに、訓練回数の削減につながると説明のあったシミュレーターの配備はどうなっているのか。

町長　まだ配備していないと認識している。

人口減少対策について

問　本町はこれまで、人口減少対策として子育て支援等の手厚い施策を行ってきた。それでも人口が減少しているのは、一番に「航空機騒音」が原因であると考える。国に対し、町内に家を新築する場合の建設費の支援等を要望する考えはないか。

町長　私は就任以降、防衛省に対して、新築で防音工事をしていただきたいと申し入れてきた。騒音を受ける前提で国が補助すれば、人口減少対策にもなり負担軽減にも大きく寄与する。新築の段階から助成できるよう、継続して申し入れていく。



耐え難い騒音への早急な対応を

地区加入率低下の対策と地区運営の補助を



小山　早苗（こやま　さなえ）議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

地区加入率の推移と分析について

問　地区加入率の低下は、子どもたちの集団登校や行事参加にも影響を及ぼしている。子どもが分断される現状は問題ではないか。加入率の推移と分析を伺う。

町長　地区加入率は3年連続で低下している。低下の要因としては、高齢により地区行事に参加できなくなった場合の心理的負担、個人で生活することに困らなくなった現代社会における価値観の変化などが挙げられる。

危機管理について

問　全住民が公平に負担と恩恵を受けられる仕組みとして「地区運営の公費化」はできないか。抜本的な制度設計と持続可能な地区運営への町の考えを伺う。

町長　現在、各地区へ自治公民館運営補助金等を交付し、自主的な活動を行っていただいている。全面的な公費化は「コミュニティ税」導入の是非も伴うため、慎重な検討が必要と認識している。活動支援の仕組みや負担のあり方など総合的な課題として、今後も区長の皆様と連携しながら持続可能な地区運営に取り組む。



地域の世代間交流で支え合い

学校の暑さ対策はどこまで進んだか



屋宜（やぎ） 直美（なおみ） 議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

小中学校における温暖化・熱中症対策について

問 他市町では、教師の業務負担軽減やリアルタイムで暑さ対策が期待できるWBGT（暑さ指数）自動測定器のテスト運用が開始されているが、本町での導入予定はないか。

教育長 運用方法等を整理する必要があるため、現時点での導入は決めていない。今後、機器の費用対効果や必要性を含め検討していく。

問 暑さで屋外活動ができない場合の代替措置や対応は。活動量減少による体力低下やフラストレーションの蓄積、良質な睡眠の妨げ等へ対策は。

教育長 授業時間を変更、冷房等の使用で対応。学校だけでなく家庭の運動量も含め、どう運動量を確保していくか考えていく必要がある。

問 「命を守る事」を優先し、制服のクールビズ化や夏場だけの服装自由化等の検討は。

教育長 登下校時の体操服着用や日傘使用等を許可している。今後さらに検討が必要。

避難所の安全確保について

問 避難所の老朽化や耐震性、安全点検の状況は適切か。新田小学校講堂の雨漏りへの対応は。

町長 耐震性を確認した施設のみ指定し安全と認識。新田学園は発災後に現地確認し開設可否を判断する。



実情に合った整備計画と予算措置を

米価下落と金芽米の活用を問う



出口（でぐち） 喜重郎（きじゅうろう）議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

概算金と作付けの指導について

問 26年産の概算金が下がったことを踏まえ、27年産以降の作付けを指導する考えは。

町長 米の制度が変わってきており、町が指導することはない。

問 概算金のあり方について町の見解は。

町長 生産費を考慮した価格形成を要請。関係機関と重要性を共有し協議する。

問 農業再生協議会の目的と、概算金への関与の有無を伺う。

町長 町と各種団体の代表で構成し、地域農業の振興と水田農業の推進を図る組織。概算金への関与はできないが、地域農業の維持発展に取り組む。

問 備蓄米の買戻しを国に要望する考えは。

町長 国が総合的に判断すべき事項だが、関係機関と連携し要望する。

消費者とつながる米づくりについて

問 消費者とつながれば安定的な米づくりが続くと思うが、町の考えは。

町長 直売所、ふるさと納税、交流サイト、SNS等での情報発信を研究したい。

金芽米の活用について

問 金芽米の学校給食での評価は。生活習慣病予防などの効果も期待される。健康施策や高齢者施設・福祉施設での活用はできないか。

町長 学校給食では高い評価を得ており、今後も続ける。食生活改善は健康維持の重要な課題。選択肢として研究し、今後の参考にする。

情報リテラシーとドローン申請



松浦（まつうら）　美緒（みお）　議員

一般質問の様子をスマホで視聴できます▶

情報リテラシー教育と学校図書整備について

問　本町の子どもに対する情報リテラシー教育の強化策について伺う。

教育長　本年7月にリテラシーブックを全児童生徒および保護者に配布した。

問　学校図書整備5か年計画の中に、小学校2紙・中学校3紙の新聞配置の推奨とあるが、考えを伺う。

教育長　現状は各校1紙にとどまっており、今後は複数新聞の配置も検討する。



だまされない“チカラ”を身につけて

小型無人機等飛行禁止法の改正について

問　従来から申請手続きが煩雑なため、簡素化できないか。

町長　これまでも関係機関と協議を行ってきた。今回、航空自衛隊新田原基地は複数月、高鍋警察署は月単位申請が可能となった。

問　町は伴走支援として、申請手続きをまとめるなどの代行支援はできないか。

町長　代行支援は難しいが、相談支援や記入方法の説明、添付書類の作成に係る助言など、円滑に申請が行えるようサポートする。

帯状疱疹ワクチン接種について

問　任意接種の場合は経済的負担が大きい。定期接種の狭間の方々への助成の考えはないか。

町長　重症化するリスクが高い高年齢に合わせるか検討していく。

令和８年第６回定例会　議案等の審議結果

番　号	件　名	結　果	
議案第 44 号	令和８年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 45 号	令和８年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第 46 号	令和８年度新富町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算	可決	全員
議案第 47 号	令和８年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第 48 号	令和８年度新富町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算	可決	全員
議案第 49 号	新富町職員等の旅費に関する条例	可決	全員
議案第 50 号	長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 51 号	新富町企業立地促進条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 52 号	新富町基金条例の廃止に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 53 号	工事請負契約の締結について（令和８年度　防衛施設周辺整備統合事業　日向新富駅東公園整備工事）	可決	全員
議案第 54 号	工事請負契約の締結について（令和８年度　再編関連訓練移転等交付金事業　平伊倉～新田原線道路改良工事）	可決	全員
議案第 55 号	令和８年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
承認第 8 号	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度新富町一般会計補正予算）	承認	全員
認定第 1 号	令和７年度新富町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 2 号	令和７年度新富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 3 号	令和７年度新富町介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 4 号	令和７年度新富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 5 号	令和７年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 6 号	令和７年度新富町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 7 号	令和７年度新富町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第 8 号	令和７年度新富町水道事業会計決算の認定について	認定	全員
報告第 10 号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定め和解することについて）	—	—
報告第 11 号	令和７年度新富町継続費精算報告書について（新富町一般会計）	—	—
報告第 12 号	令和７年度決算に基づく新富町健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—

総務産業常任委員会　行政調査報告

① 株式会社ファーマン（山梨県北杜市）

令和８年７月 21 日（火）
対応者：井上　能孝　代表取締役

◆目的
地域密着型農業の取り組み、ユニークな活動に注目し、農業の多様化・可能性に対する知見を広げる。

◆所感
到着後、井上代表との挨拶もそこそこに、農作物を仕分けしている建物に案内された。そこでは地元の大学生ボランティアが、ニンニク・玉葱などの仕分けをしていた。保存用冷蔵庫には太陽光発電の電気を使用し、バイオガス製造機で野菜くずからガスを生成し、ハウスなどで活用する予定。循環型農業も実践していた。次に宿泊施設に案内され、浴室、サウナ、カフェ、グランピング施設などを見学、カフェではコーヒーを頂きながら意見交換をさせてもらった。とにかく井上氏は人脈もさることながら、自身の利益を考えない行動力が事業の多様化を実現していると実感した。最後に廃校となった小学校を利用して、体育館はボルダリング施設に、校舎は宿泊施設や研究室などに改装されており、現在も改装中である。移住者がここまで地域に貢献している事例を目の当たりにでき、大きな感銘を受けた。また、こゆ地域づくり推進機構との繋がりもあり、秋以降に双方の農閑期を利用した農業交流を実施予定と聞いており、今後の展開にも期待したい。


バイオガス製造機


廃校内のボルダリング施設

② 東京都西多摩郡瑞穂町　自動運転バスの取り組み

令和８年７月 22 日（水）
対応者：都市整備部　古川　実 部長　ほか３名

◆目的
現在各地で自動運転の実証実験が行われており、近い将来、自動運転技術は確立されることと思われる。瑞穂町で一部区間運行されている自動運転バスの現状を視察し、今後の展開と課題などを調査する。

◆所感
試乗した感想は、思いのほかスムーズに運転できていたと思うが、やはり想定されるパターンが複雑多様で、それに対応する能力は、まだまだ人間に追い付いていないという印象だった。現在は、運行しながらそういった情報を収集し、積み上げていくしかないのだろう。担当者との意見交換では、やはり事故時の責任の所在等の心配の声が上がった。運用面では、新富町に当てはめれば、駅からスタジアムまでの直線で単純な道路でのピストン輸送には適しているのではと思うところで、もしかすると早期の導入もあり得るかもしれないと感じた。


自動運転バスの説明


運用計画について聞き取り

学校の先生たちと、教育現場の課題について話し合いました。

たずねた学校 **町内４校**　いただいた声 **207 件**　開催した月 **７月・８月**

富田小学校　令和８年８月 20 日（木）



富田小学校のみなさんと



「児童トイレの悪臭が激しい。和式が多く、洋式化を進めてほしい。」

「校舎の老朽化。きれいにしてほしい、改修できないかという要望が複数出た。」

「地域の方と交流する機会がない。学校と地域の橋渡し役として、コーディネーターの機能が必要。」

富田中学校　令和８年７月 29 日（火）



富田中学校のみなさんと



「プールが循環器の故障で使えない。町営プールの整備を求める声もある。」

「各教室に電話を取り付けてほしい。緊急の場合に走って対応している。」

「不登校は、本人よりも保護者のほうがどうしたらよいか分からず、対応が難しい。」

「英語・数学の少人数指導は、とてもありがたい。」

「教職員不足が騒がれているが、本校はおかげさまで困っていない。」

※順序は内容のまとまりによるもので、件数の多い順ではありません

4 校舎・トイレ・プールが古い

トイレの洋式化、校舎や講堂の老朽化、故障したプール。「壊れてから直す」のではなく計画的な修繕をという指摘もありました。

5 通学路を安全に

街灯の少ない地区があり、下校時の安全が心配されています。路面標示や標識のカラー化を求める声もありました。

6 地域みんなで、子どもを育てる

学校と地域をつなぐ人材を求める声。子どもたちが地元の良さを知り、地域に貢献したいと思える働きかけが必要です。

いただいた声は、議会から町へ伝え、これからの議論に生かしていきます。

令和８年

議員と語ろう会を開催

上新田学園　令和８年８月 25 日（火）



上新田学園のみなさんと



「生徒数の減少により部員の確保が困難。部員が１名という部もある。」

「スクールサポートスタッフの恒常的な配置を。印刷業務や教材準備を担ってほしい。」

「春日地区や畦原地区方面は街灯が少なく、生徒の帰宅時に危険が伴う。」

新田学園　令和８年７月 29 日（火）



新田学園のみなさんと



「小学部講堂の老朽化が深刻。床の破砕、シロアリ、雨漏りがあり学習に支障が出ている。」

「司書・用務員の増員を。一貫校となって以来、仕事量が２倍で過重労働の状態。」

「新田の子は新田で育てる」。「歴史ある部活動を続けられるよう、地域の指導者を育てていきたい。」



♪うれしい声も届きました

「議員と直接話せて、とてもよかった。」

「図書が充実している。新富の食材（野菜）も新鮮。」

先生たちの声 ―― ４校で重なった声を、６つにまとめました

1 部活動、これからどうする？

生徒数が減り、部員の確保が難しくなっています。地域移行について町の方針を示してほしいという声が、中学部のある３校すべてから出ました。

2 先生を支える人をふやして

スクールサポートスタッフ、司書、用務員、支援員などの増員・恒常的な配置を求める声が、４校すべてから寄せられました。

3 学校に行きづらい子のために

不登校の児童生徒の受け入れ先が不足しています。各地区に相談・学習ができる場所を、という要望がありました。

このほか、Ｗｉ－Ｆｉやタブレットの環境、働き方改革、修学旅行の保護者の費用負担についても意見が寄せられました。

■発行責任者／新富町議会議長　阿萬誠郎

■印刷／ふくしげ印刷

Pick up

がんばったよ！さいごのうんどうかい



うだす　るな



やまもり　ゆあ



かい　ちひろ



さやま　こうめい



とくやま　ゆいこ



いのうえ　れいこ



たなか　ことみ



かねまる　こうだい



くらなが　まひろ



とくやま　かつや

お詫びと訂正：131 号 2 ページに掲載した「うだす　るな」さんのお名前を「うすだ　るな」さんと誤って表記しました。
深くお詫びし、訂正いたします。

あとがき

今回の議会だよりでは、保育園の運動会を特集しました。年長園児によるピラミッドからは、子どもたちと先生方の挑戦と覚悟が伝わってきました。

運動会は、働き方改革、熱中症対策、保護者の負担軽減、安全確保などを背景に、大きく姿を変えています。どれも大切なことです。

一方で、ふと思います。「子どもたちは、本当にこれで満足しているのだろうか」と。危険や負担を減らすあまり、思い切り挑戦し、悔しがり、喜び、仲間と心を一つにする機会まで奪ってはいないでしょうか。

安全は最優先です。だからこそ、安全と挑戦、負担軽減と体験をどう両立させるのか。学校行事は、子どもの成長と地域の絆を育む大切な「学びの場」。私たち大人が、今一度向き合うべきテーマだと思います。

おさむ

議会広報特別委員会
委員長　羽田野　治
副委員長　小山　早苗
委員　今村　行信
松浦　美緒
石﨑　俊二
揖斐　兼久

連絡先　議会事務局
電話 33-6139